

令和7年度 多摩市立諏訪小学校 学校経営方針について

令和7年4月
多摩市立諏訪小学校
校長 齋藤 幸之介

おかげさまをもちまして
無事に新年を迎えることがで
きました。

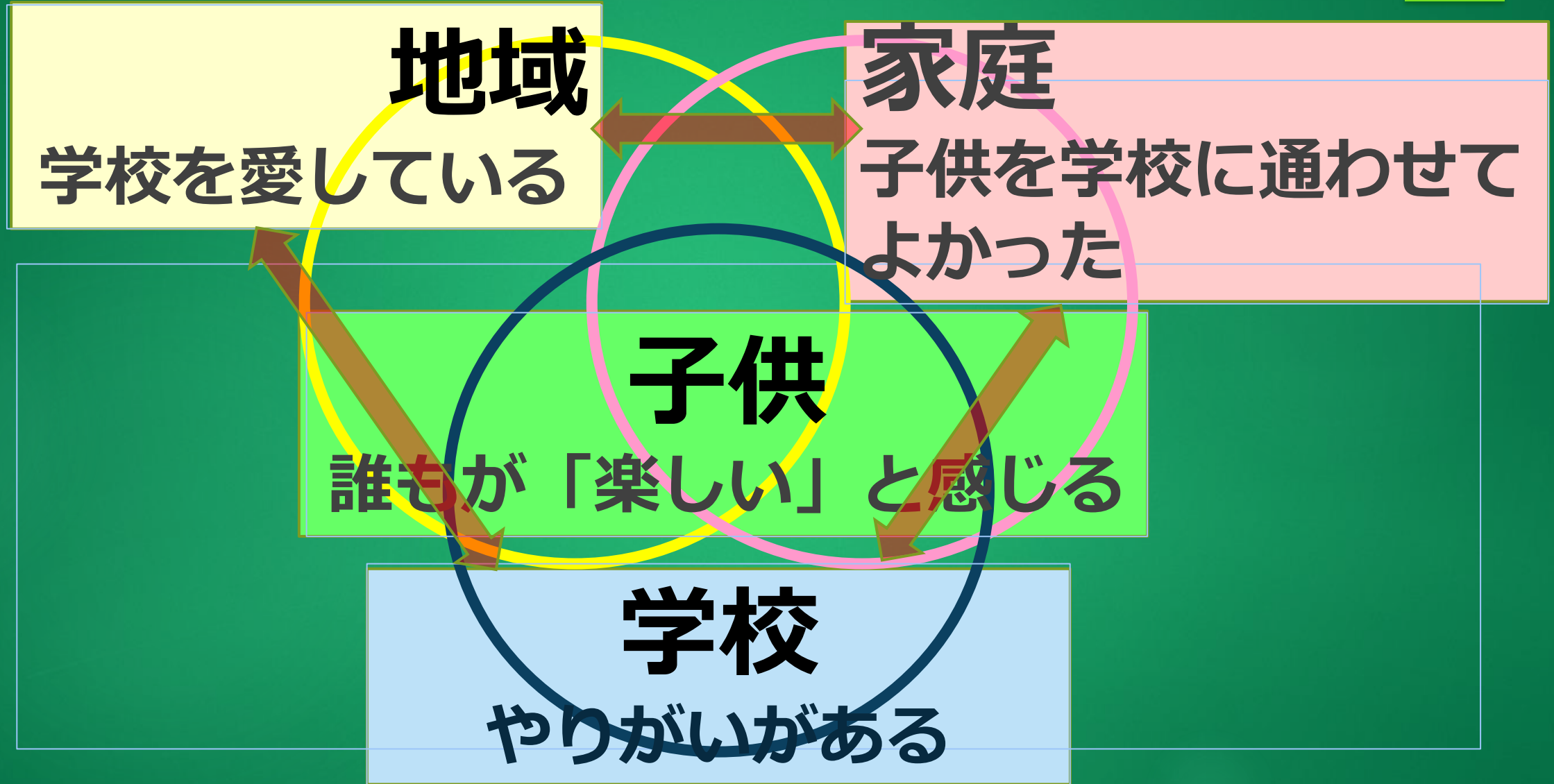
- ・ 学年 ・ 学級開き
 - ・ 授業（水泳指導も）
- 新しい出会い ・ 進級
期待の大きさ

令和7年度 本校の学校経営方針

「コミュニティスクール構想の
下、教育活動を行っていく」

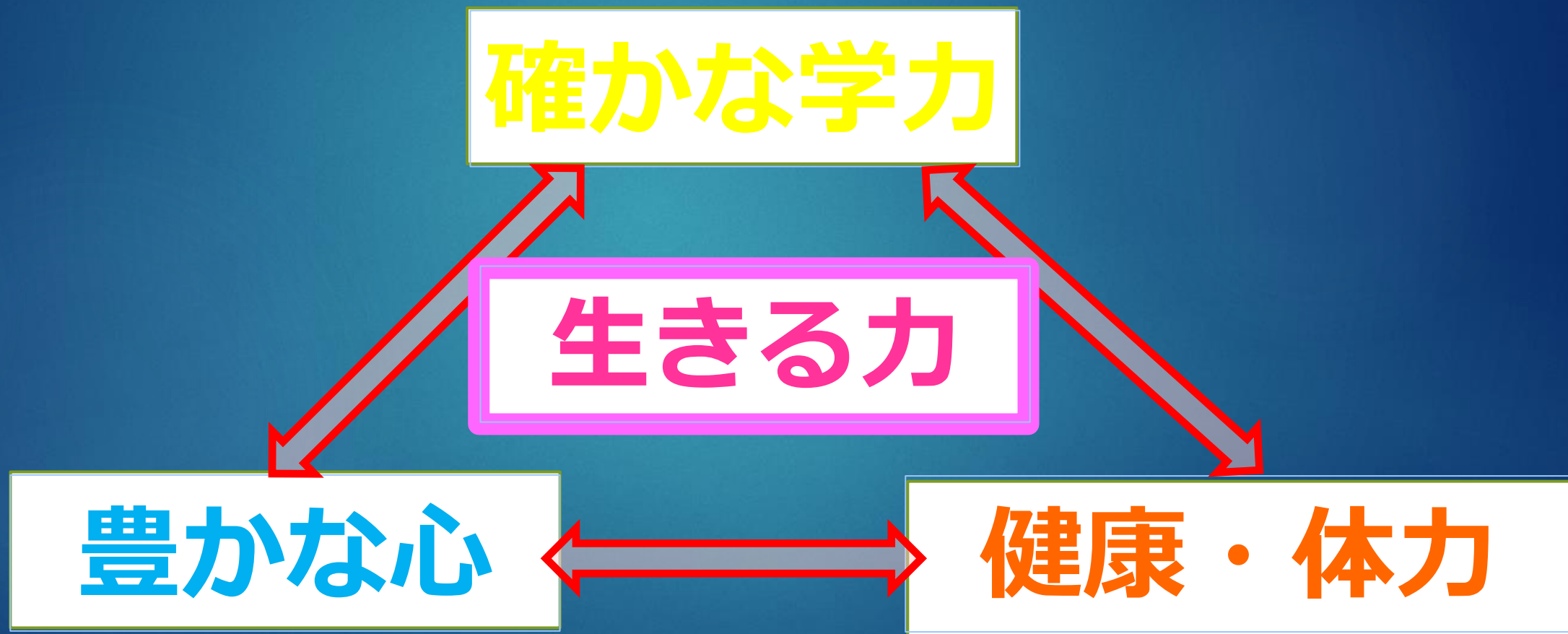
ことを基盤として行きます。

コミュニティスクール構想



学校が担う役割

子供たちの「生きる力」の育成



確かな学力（「かしこく」）

昨年度の成果

例：30周年記念式典

各学年が地域のよさを発表

→自ら「問い」を追究し、
まとめたり、さらに地域
社会の活動に参加

確かな学力（「かしこく」）

昨年度の成果

例：地域社会の活動に参加

- ・ 諏訪第四公園の手すりの塗る替え（4年生）
- ・ 地域でのラジオ体操を実施（6年生）

確かな学力（「かしこく」）

昨年度の成果から

大切にしたいこと

教科等で知識・技能を身に付け、
これを生活・総合的な学習の時
間、他教科等で活用し、地域社
会等で生かす学習

確かな学力（「かしこく」）

昨年度の成果から

大切にしたいこと

自ら問いを見いだして解決



自ら判断したり行動したり

※ 「夏チャレ」で挑戦

確かな学力（「かしこく」）

一部教科担任制の導入
教員の専門性等を生かした
充実した授業の実現
複数教員の関わりによる
児童一人一人の理解の深化

豊かな心（「やさしく」）

最重点目標

「いじめは絶対に許さない」

→相手の考えや立場の尊重
自己肯定感の高揚

仲間との協調、
↑
たて割り班活動等

豊かな心（「やさしく」）

特別の教科 道徳

「考え、議論する」 活動の重視



自分の価値を問い直す過程で
相手の考えのよさを見いだす

豊かな心（「やさしく」）

地域との関わりを活かして
多くの方々と触れる

↓（すわっ子市場等）

地域への愛着

健康・体力（「たくましく」）

健康かつ安全に生活するために



「体力アップ週間」

様々な動きを採り入れて

体を動かす喜びと運動習慣

スポーツへの関心

健康・体力（「たくましく」）

一昨年度の反省

「学校閉鎖」をしないために
欠席率を低下を→2%減



- ・手洗いの励行
- ・「自分の健康を見つめる」

教育活動を支えるために

- ・一人一人の教育的ニーズ



子供たちとの関わりの重要性

→個々の見取りの重要性

- ・特別支援教育

カウンセリング

教育活動を支えるために

- ・ I C T 教育の推進



タブレット端末の効果的な活用

※御家庭の協力を得ながら

例：「正しい活用」を

教育活動を支えるために

- ・ 子供に「委ねる」活動を目指す



教えることは教え、
任せるところは任せる

教育活動を支えるために

- ・ 子供に「委ねる」活動を目指す



「試行錯誤」の保障
効率的だけでは実現できない
だから「Festina Lente」
「ゆっくり、急げ」

教育活動を支えるために

- ・ いずれ皆様にも協力等をいただくことになる

「教職員の働き方改革」



一方で「教職員に求められることは何か」を明確にする必要性

最後に

子供たち同士の関わり
→起こりうる「様々な問題」



本校でのできうる限りの対策



お願い：相互に関わる大切さへの
御理解を

最後に

口幅つたいことになりますが、
全教職員は御子様の成長を叶え
るために必死に業務に取り組ん
います。至らぬ点もあるかもし
れませんが、どうぞ「教職員を
育てていただきたい」です。
どうぞよろしくお願いします。

最後に

教職員は、限られた時間の中で子供たちとできるだけ多くの関わりをもちたいと思っています。連絡帳を頂戴した場合、返答が難しくありますので、放課後に電話による連絡をさせていただくことを御理解ください。